



Costa アミーゴス

発行者 : Costa Amigos 事務局
Chie Ito, Sanae Yoshioka
Editor: Chie Ito
Reporter: 記事中心記載
Designer: Chie Ito
TEL: 95 221 4998
E-mail: costaamigos@gmail.com

スペインの今、スペインとエリアのニュース、インタビュー、わが町、食、コラム、旅

アイスランド火山噴火 飛行規制



WHO はヨーロッパ全域に対し、火山灰が降り始めたら外出を控えるかマスクを使用するよう呼びかけている。火山灰は細かいガラス状の砂とちりの粒子でできている。この粒子を吸い込むと、眼、鼻、のどに炎症が起こることがある。ぜんそくや肺気腫など呼吸器系の問題を抱えている人は特に注意が必要。

アイスランド火山噴火の火山灰による欧州航空網の混乱が続いている。

4月14日午前1時(現地時間)に首都レイキャビクから東へ約125キロのアイスランド南部エイヤフィヤトラヨークトル氷河にある火山が噴火した。火山灰は6-11キロ上空に吹き上げ、ゆっくり南東方向に広がり、16日までに欧州北部の上空に到達した。それにともない欧州北部の国では国際空港を含め火山灰空域の飛行を禁止した。これは火山灰の中を通過した航空機のエンジンが火山灰成分の粉を吸い込んで停止するトラブルが報告されているためだ。

19日には一部空港の再開が報告されたものの、火山活動の活発化のために再度閉鎖措置が取られ、21日から正常化に向かった。

欧州航空交通安全機関では火山灰が高濃度の空域を「飛行禁止空域」、残りの低濃度空域を「運航許可空域」とし航空機の運行を認める措置を取っている。

空港閉鎖による欠航で航空会社は1日当たり約185億円の減収となると言われる。いくつかの航空各社が独自に実施した試験飛行では機体に火山灰が目立った影響が見られなかったことから、飛行禁止措置の緩和が取られた。

飛行規制に伴うヨーロッパ内の混乱は大きく、世界の各地で足止めを受けた旅客が必死の思いで目的地にたどり着こうとヨーロッパ大陸内を陸上・海上交通手段を駆使して動きまわった。

今後経済・社会面に深刻な悪影響を及ぼすことが懸念される。

Feria Internacional de Los Pueblos 2010

Fuengirola市が主催するFeria Internacional de los Pueblosが2010年4月29日から5月2日までフェンヒローラ市のRecinto Ferial Fuengirolaにて開催される。今年も芳野法一氏を実行委員長として日本館が参加する。

フェア広場は、Renfe C1線のロスボリッチェス駅とフェンヒローラ駅の中間地点に位置する。日本館はこれまでと同じ、PSOEのカセタで開館する。開館時間は12.00から01.00まで。

現在実行委員を中心にお祭りの準備を進めており、運営ボランティアの募集も引き続き行っている。実行委員会では、「世界の国々からの居住者が一堂にフェンヒローラに集う、とても楽しいイベントです。日本人、日本に興味のある外国人、どなたでも参加は大歓迎です」と話している。なかなか体験できない、スペインのお祭りに参加できる楽しい地域イベントだ。

祭りの目玉となる、世界各国が参加する大パレードは5月1日の12.30からフェア広場内で開催され、オリンピックの入場行進さながら、Japonのプラカードに続き盆踊りを踊りながらフェア広場内を周ることになっている。また日本館内では日本文化を紹介するパフォーマンスやイベントが各種計画されている。工芸品や日本食品、雑貨ショップも出店する。バザー品の提供や寄付も大歓迎だ。

参加に関するお問い合わせは日本館実行委員会まで：芳野法一（よしの のりいち）

E-mail: yoshino_n@hotmail.com TEL:627 796 264

コスタ・デル・ソル便利な番号

マラガ

マラガ空港	95 204 84 84
到着	95 204 88 38
出発	95 204 88 04
バスターミナル	95 235 00 61
消防	95 230 60 60
Policia Nacional	95 204 62 00
Policia Local	95 212 65 00
Guadia Civil	95 239 19 00
RENFE	95 236 02 02
Carlos Haya 病院	95 239 04 00
Civil 病院	95 230 77 00
Hospital Clinico	95 228 80 00
タクシー	95 233 33 33
観光案内	95 221 34 45
市役所	95 213 50 00

トレモリノス

バスターミナル	95 238 24 19
消防	95 238 39 39
Policia Nacional	95 238 99 99
Policia Local	95 238 14 22
救急	95 238 64 84
タクシー	95 238 06 00
観光案内	95 237 95 51
市役所	95 237 94 00
外国人居住者案内	95 237 42 31

ベナルマデナ

バスターミナル	95 244 35 63
Policia Nacinal	95 244 29 24
Policia Local Pueblo	95 257 98 53
Policia Local Arroyo	95 257 98 53
ヘルス・センター	95 244 04 04
タクシー	95 244 15 45
観光案内	95 244 24 94
市役所	95 257 98 91
外国人居住者案内	95 256 12 31

フエンヒーローラ

バスターミナル	95 247 50 66
Policia Nacional	95 247 32 00
Policia Local	95 247 31 57
消防	95 246 10 46
ヘルス・センター	95 246 88 35
タクシー	95 247 10 00
観光案内	95 246 74 57
市役所	95 258 93 00
外国人居住者案内	95 258 93 78

ミハス

Policia Nacional	95 249 20 69
Policia Local Mijas	95 248 62 28
Policia Local Lagunas	95 246 09 09

Guadia Civil	95 248 50 18
救急車	95 246 09 09
ヘルス・センター	95 259 05 13
市役所	95 248 59 00
外国人居住者案内	95 248 59 00

マルベージャ

バスターミナル	95 277 21 92
Policia Nacional	95 282 23 53
Policia Local	95 282 74 74
消防	95 277 43 49
ヘルス・センター	95 282 48 02
タクシー	95 277 00 53
観光案内	95 282 35 50
市役所	95 276 11 00
外国人居住者案内	95 276 11 16

その他

救急車	061
Sevillana 電気	902 509 509
Telefonica 電話	1004
電話番号案内国内	11818
電話番号案内国際	11825
日本大使館 Madrid	91 590 76 00
総領事館 Barcelona	93 280 34 33
在日スペイン大使館	03 3583 8533

コスタの今

Malaga 国際結婚

マラガ県はスペイン国内で4番目に国際結婚の割合が高い県であるとの統計がでている。結婚する4組にひと組の割合で配偶者の一方が外国人となっている。2008年にマラガ県で結婚した7157組のうち、1726組が国際結婚ということになる。ちなみに日本では5-6%。スペイン国内の国際結婚数におけるマラガ県成婚の占める割合は4.75%。トップはマドリッド16.9%、バルセロナ15.7%、バレンシア5.75%となっている。

Torremolinos 遂にエコ・アイランド設置

トレモリノス市では市街地を中心に、エコ・アイランド（地下埋め込み式の分別ごみ回収設備）を設置することを決定、37か所の設置工事を始める。コスタ・デル・ソルの自治体では1997年にベナルマデナ市が初めてエコ・アイランドの採用をして以来、環境保護意識の高まりとともに近隣自治体にも設置の流れが広がった。トレモリノス市が設置を決めた最後の自治体となった。

Benalmadena 殺人事件

ロンドン出身のイギリス人男性(32)がアロヨ・デ・ラ・ミエルの自宅、Yolamarアパートにて口論の末に刺殺されるという事件が起こった。犯人は2人で被害者と面識があった模様、警察が犯人の行方を追っている。

<http://www.booking-by.net>
Booking-by.Net

英語&スペイン語 留学

スペイン・イギリス・アイルランド留学 コンサルティング力、情報収集力、交渉力が違う！

E-mail: info@booking-by.net TEL: +34 95 221 4998 FAX: +34 95 221 1349

オンライン無料留学コンサルティングサービス、無料手続き代行、ヨーロッパの地の利を生かしマルチ言語を身につけよう。

スペインでスペイン語、イギリス・アイルランドで英語研修、留学情報なら！**Booking-by.Net** サイトをご覧ください。

ロンドン滞在に当社ロンドン宿泊施設をご利用下さい。アールズコート Nevern House シングル 1週間 245.00ポンド

インタビュー 芳野 法一さん フェリア日本館

今年も Fuengirola 市の Feria Interneccional de Los Pueblos に日本館が設置されることになりました。
今年の実行委員長である、芳野法一さんにお話を伺ってみましょう。



2010年日本館Tシャツ

Q フェリアの日本館も今年が3年目となりますが、今年の見どころを紹介してください。

A 和風の新しい出しものとして琴の演奏と日本舞踊があります。琴はスペイン在住のプロ酒井好恵さんです。藤娘を踊る福田夢子さんは、現在 Colegio Maravillas でスペイン語を勉強している学生さんです。和風ということを離れればやはり、ベラ&まゆみのバイオリンとピアノです。今年は音響装置も充実させましたので昨年にも増して素晴らしい演奏が聴けるはずです。カセタの装飾も、後神尊子さんが中心になって日西友好千羽鶴作り、芸林みつさん寄贈のひな人形展示、岩倉路子さんのいけばな、日本人の感性が生かされたカセタが出来上がる予定です。

Q 日本館と言えばフェリアの中でも他国を凌ぐ人気パビリオンとなっていますが、毎年努力している点は？

A 日本文化を積極的に発信する、当地に住む人々との交流を深める、の二点を基本的な理念として、フェリアに関することの是非はこれを基準に判断しています。ヨーロッパで人気のある日本アニメのキャラクターものから、伝統文化まで、広く取り入れています。

今年は折り紙と毛筆の体験コーナーを設けます。

Q 今年日本館で提供する日本食メニューを教えてください。

A メインはやはり寿司 (4.50EUR) と焼きそば (3.50EUR) です。値段から考えれば大満足してもらえるはずです。新しいメニューは枝豆があります。日本酒は徳利で燗酒が出来ればと考えています。

Q 近隣に在住する日本人でフェリアにボランティア参加したい場合はどうすればよいですか？どんな仕事がありますか？

A 仕事は大きく分けて調理の下ごしらえと販売です。販売には焼きそば等食品の受け渡し、バーカウンター内の仕事、食券の販売、物品の販売があります。原則として12時-15時、15時-22時、22時-03時(実際は01時の予定)のどれか一つの時間帯を選んで頂くことになります。4月25日までに私宛に **E-mail:yoshino_n@hotmail.com** か電話：**627796264** でご連絡ください。

Q 実労参加は無理だけど・・・という方について、物品の寄付や寄付金などを受け付けていますか？

A 勿論大歓迎です。連絡は上記 e-mail か電話へお願いします。

Q 今年日本館の目標は？

A 月並みですが、期間中に事故がないことと、終わったあとに参加してくれた方が満足してくれること。全員満足という訳には行かないでしょうが、少なくとも不満が残らないようにしたいですね。



Q 委員長として参加者に伝えたいこと。

A 日本館には公的な援助や企業からの寄付が無いので、ボランティア参加する皆様の時間という目に見えない寄付に頼っています。我々実行委員もボランティアの一員です。その寄付された時間で諸々の準備を進めフェリア当日に備えます。そしてフェリア当日は飲食物を作り、物品を売り、その売上による差益で全ての経費を賄います。経費は3万ユーロ弱です。過去二年間、皆さんの努力のおかげで差益額が経費額を上回ったので幸いにも黒字になりました。

最後に、来年のフェリア日本館の実行委員会を立ち上げようという方は居ませんか？今年で三年目になるので運営ノウハウもだいぶ揃ってきました。お祭りの楽しさはやはり、外から眺めるのではなく参加するところにあります。ボランティア方式ではなく、ビジネスとして立ち上げるのも良いと思いますよ。他国のカセタではそのような例もあります。ご興味のある方は私、芳野までご連絡ください。

見つけた！わが町のスポット スペインの田舎ステイ



山荘ブエナビスタ (Finca Buenavista)

Parcela 92 Poligono 8

Partido Rio Grande

La Charca

Coin Spain

オーナー：後藤田文子さん

自宅：00-34+951 247 153

携帯：00-34+678 966 895

メール：dey@btinternet.com

自家用車やレンタカーで出かけるのと現地で移動の足を確保できます。運転しない方も滞在はできますが、空港送迎、外出時の送迎は別料金となっています。

お友達と一緒にちょっと普段と違う週末を過ごしたい時など、経済的に楽しめるスペインの田舎ステイプログラムです。

ご予約は左記の後藤田文子さんまで。

コスタ・デル・ソルの内陸部の町、コインの郊外の Finca ブエナビスタに住む、後藤田文子さんの別棟コテージが、スペインの山村ステイプログラムとして貸し出されています。

ブエナビスタではカントリーサイドならではのアクティビティが体験できます。乗馬、リオ・グランデ散策、近隣のセラミカ訪問、ローカル蚤の市、地元レストランでのランチ、グアロやモンダなどの白い村訪問、レモンやオレンジ、野菜収穫の手伝い、またボランティアワークとしてブエナビスタに保護されている犬たちの世話、ガーデニングやメンテナンスなど、自然の中でリラックスした時間を過ごすことができます。

コテージは2ベッドルームで最大4人まで滞在できます。1バス、キッチン、冷蔵庫、サロン、バー、スイミングプール付き、調理設備は整っており、自炊ができます。宿泊料金は1泊35ユーロ、料金には宿泊費、タオル、光熱費、スイミングプール利用が含まれます。



地中海歴史の散歩 27

ローマは、ハンニバル戦争と言われた第二次ポエニ戦役からイベリア半島に介入し、紀元前2世紀の初頭、カルタゴに取って替わりスペインの経営に乗り出す。しかしスペイン人は唯々諾々とローマに統治されるほど従順ではなく、続く200年以上もローマの覇権に執拗に抵抗する。スペインで本格的な「ローマ化」のプロセスが始まるのは、紀元後38年のローマの初代皇帝アウグストゥスによる属州宣言からである。スペイン全土で遺跡発掘すると殆どがローマ時代のものであると言われるが、紀元前のローマの遺構は極めて少ないというのは、その辺の事情を反映している。



多くの古代文明がイベリア半島を駆け抜けて行ったが、現代スペインの文化・制度に拭い去ることのできない痕跡を残したのは、ローマ時代の遺産である。それは強烈な三位一体からなる。(1) ラテン語の話し言葉から派生したスペインの言語。(2) ローマ法、そして(3) キリスト教という宗教である。さらにローマの芸術、建築・インフラ、政治・社会制度、伝統的慣習など大きな影響を受けている。

6世紀に渡り、ローマはイベリア半島を支配したが、この間スペインは、それまでの歴史から見違えるように著しい変容を遂げた。

ローマ人は言語が国民の風習に与える影響については良く理解していて、ラテン語の拡大を奨励した。ローマ軍団兵によって使われたラテン語は、庶民階級のラテン語と呼ばれ、キケロやホラスなどの学識者の文語体ラテン語とは区別されているが、これがカスティージャ語となり、後に現代のスペイン語となった。

進歩したローマ法の導入は、ローマの慣習と共に国中に普及し、今日なお用いられている建築・工学上の原理もローマ人がもたらした。

後にローマ人はキリスト教という新しい宗教を取り入れ、それらは全く異なった人種や言語集団を統合させる役目を果たした。

実際のところ、「スペインは、ローマ支配下に於いて初めてで最後の、真の政治的・文化的統合を謳歌した」のだと言う学者もいる。

(黒川 和直)

季節の食材 「REVUELTO」スペイン風卵とじ



今回は、とても簡単にできるスペイン料理を紹介します。スペインのバルやレストランでは必ずと言っていいほど登場する料理です。今回はいろいろなバリエーションを紹介いたしますので、毎日のおかず、ビールのおともに、楽しんでみてください。

作り方

野菜やハムなどをたっぷりのオリーブオイルで炒めて、火が通ったら、かき混ぜた卵でとじます。日本のいりたまごのように、細かくくずさないのがスペイン流です。

バリエーション

- 1 むきえび、かにかま、たまねぎ
- 2 きのこと、にんにく、パセリ、生ハム
- 3 アスパラ、にんにく、生ハム
- 4 むきえび、にんにくの芽
- 5 たら、たまねぎ、ピーマン、パセリ
- 6 マッシュルーム、にんにく、生ハム
- 7 たら、ピミエント ピキージョ(赤ピーマンをオープンで焼き、細かく切ったもの)
- 8 ズッキーニ、ハウレンソウ
- 9 いか、アーティチョーク、きのこ、生ハム
- 10 アーティチョーク、生ハム、レモン汁

(吉岡 砂苗)

お料理メモ: アスパラやアーティチョークのように硬いものはあらかじめゆでておきます。ここにある生ハムはうすく切ったものより、小さめのブロック状のものです。きのこであるのは、SETA というおぼけきのこのようなものですが、日本のしめじやえのきなどを使ってもおいしいと思います。

この料理は決まった形はありませんので、お好みに合わせて、オリジナルのREVUELTOを楽しんでみてください。

世界食べ歩き

今回は旅先で見つけた食べ歩き、日本から来た友人とともに久々にグラナダを訪れました。いつもは観光のお決まりコースだけで終わってしまうグラナダですが、今回は2泊して少しディープに？郊外まで足を延ばしてみることにしました。皆さんもこちらに住んでいると日本からお友達が訪ねてくる機会も多いでしょう。そんなときのために、ちょっと観光客は知らない、とっておきレストランをご紹介します。

Restaurante El Olivo C/Constitucion 12 Castillo de Tejarja Granada Tel 958 557 493

グラナダから空港に向かう A92 にのります。Castillo de Tejarja のサインが出る 220 番出口で高速を降ります。標識に従って田舎道を Castillo de Tejarja に向かいます。冬の長雨で、あたりは新緑の緑。周囲はオリーブ畑と青い空をバックにシエラネバダの美しい稜線が眺められ、「あー、スペインに住んでて良かった」とつくづく思える美しい田舎風景でした。高速を降りて 15 分くらいで目的の村に到着、たぶん村の一番の名所がこのレストランなのだと思います。小さなサインが出ていますので、レストランはすぐに見つかります。と言うよりも、いささか村の風景から浮きたつ高級車の流れに付いていくと迷わずにたどり着けます。



この写真がレストラン。村のごく普通の家屋がレストランになっていて、店に入ると親戚の家にもでも招かれたような気分です。

シェフのミゲールさんがテーブルに来てひとりひとりと話をしながら一緒にメニューを相談して決めてくれます。私たちは大人6人子供2人の8人グループ。色々なものをちょっとずつというプランになりました。フォアグラのパテ、もう絶品！レバーは嫌いだけど、これだけは美味しいと思って食べられるんですね。じっくり味のしみ込んだ白豆の煮込み、マッシュルームクレープのエビソースかけ、バカラオのパイ包、山羊のチーズとオニオンカラメル、ダックコンフィーこれも絶妙な味のコンビネーションでした。さすがにデザートまでは無理でした。美味しいコーヒーで、あーもう入らないと思うまで思っきりいただきました。

ミゲールさんはアンドーラなどでフレンチの修業を積んで、自分の村に帰ってこのレストランをオープンしました。最近風の洒落たレストランではなかなか感じない、心温まる料理が食べられるのが一番の魅力でしょう。口コミでうわさを聞きつけ、かなり遠方からもお客さんが来るようです。現地でがっかりしないように必ず予約が必要です。2010年も星はついていないのですが、ミシュランガイドに掲載されているようです。

そうそう、お会計ですがワイン2本含めて8人で145ユーロでした。マラガから一時間半かけてドライブする価値のあるレストランです。

Santiago de Compostela 旅日記 2 (伊藤 茂/宮子)

サンティアゴ巡礼って？巡礼の道って？全行程 800 キロを歩く？こんな疑問から始まった夫婦の旅。

一昨年、縁あって芸林夫婦、上野夫婦とレンタカー 2 台で連れ立って、フランス「LOURDES」の巡礼地を訪ね、多くの人々が奇跡の聖地を訪ねる姿を見て、「この人々を奮い立たせている源は何なんだろう」との思いを馳せながら、今回も先回芸林氏夫婦が後ろバンパーに付けた痕跡の残る車で、今は亡き人生の大先輩民夫氏の思い出とともに巡礼の旅は続く。



10月18日 晴れ

フランス国境から 23 キロ、標高 1,632m のソンボルト峠を越え、スペインへ入った巡礼者達が出会う、かつてのアラゴン王国の都ハカ。16 世紀に建造された軍事要塞シウダデラは五角形。アメリカ国防省ペンタゴンの原型か？

石造りでゴシック式アーチのサン・ミゲル橋、苔むした十字架碑この橋を渡り、十字架に跪き、サンティアゴまで 800 キロの無事を祈ったのだろうか。未舗装の山道を登り、目の前に広がる美しい風景や小川の冷たい流れがのどを潤し、疲れを忘れさせてくれる……。標高 1,080m 先の村に、11 世紀に建てられた小さな教会が残っていた。今でこそ車で難なく行けるが、さぞかし苦難の連続だったに違いない。途中、道には木製の道しるべ、聖ヤコブのシンボル、ホタテ貝の彫りこみが見える。

ホタテ貝の道標を確かめ、サングエサからプエンテ・ラ・レイナへ向かう。途中今は廃墟となり崩れ落ちた城跡、地図に在る古い教会跡が、パラドール並みの HOTEL に代わっていたり、道中を退屈させない道程だ。

プエンテ・ラ・レイナは、二つのフランスからの巡礼路が一つに交わる有名な町だ。牛追い祭りでよく知られているパンプローナから 25 キロ弱、中世から多くの巡礼者を見守ってきた町の名前の由来となった王妃の橋があり、撮影スポットとして見落とせない場所でもある。日が傾きかけた頃、隣のエステーリャに宿を取る。この町は、巡礼路の重要な宿場町として「星降る町」と呼ばれている。11 世紀初め、羊飼いたちが雨のように降り注ぐ星に導かれ、埋もれていた聖母像を見つけたという伝説に基づく。巡礼路には三角形のカルセル橋があり 12 世紀に建てられ北側の入口の彫刻が美しいロマネスク様式のサン・ミゲル教会がある。

ここでも多くの巡礼者が旅の無事を祈ったのだろうか？

10月19日 日晴れ

気温 6 度の冷たい空気が肌を刺す様で、新潟出身の私達にも寒い朝だ。

古の巡礼者は、寒さも物ともせず身支度を整え、次の町へと旅立って行ったのだろうか？

今日はルートを逆走し、フランスからのもう一つのピレネー越え、標高 1,057m のイバニェタ峠に向かい、国境の村ロンセスバジェスの巡礼者事務所まで巡礼者の登録を済ませ、巡礼路の証であるクレデンシアルにセジョを貰い峠の頂へ着く。厚い雲に覆われた頂には、8 世紀当時スペイン遠征に出たカール大帝がサラゴサのイスラム王に敗れ、甥のローランを亡くして埋葬した場所にローランの石碑と、カール大帝が懺悔したという大きな十字架の立つ建物がある。多くの巡礼者がこれらを見たであろう。

峠をなめるように冷たい北風が、巡礼者に試練を与えるがごとく吹き抜けていた。ここから 800 キロ強、サンティアゴまで多くの困難に耐える決意を確認する神の風なのか……。そのままフランスを大西洋岸へ向かって走り、再びスペインに戻りサン・セバスティアンへと走る。昨年の旅で見たコンチャ湾の白波の美しさが忘れられず、海辺のホテルを取る。

生憎の風で、約 300m の馬蹄形をした一本波は見るができなかったが、風の穏やかな潮騒が旅の疲れと相まって、早々に夢の世界へと誘う。



左：ハカの国境

スペインの食材でこれ作ろう

第五回 イモ餅

芸林 みつ

今回は私が小さい頃から食べていた北海道の「イモ餅」を紹介し
ます。

和歌山県の「イモ餅」は餅米で餅を作るときに蒸したサツマイモを
加えてつきあげ、中にアンを入れてきな粉をまぶすそうです。

岐阜県のもは普通米とサトイモと一緒に炊き上げてからつぶし、
生姜と醤油のタレにつけてから焼き上げるそうです。どちらもおいし
そうですね。

北海道の「イモ餅」はジャガイモとでんぷん（片栗粉）だけで作り
ます。イモとは同じ材料から作るでんぷんとの相性はいいのでしょ
うね。昔カタクリの根からとっていた「片栗粉」は今では希少価値が高
く手が出ません。今、「片栗粉」として売られているもののほとんど
がジャガイモのでんぷんです。スペインには片栗粉ではなくコーンス
ターチなので少し粘着力が弱い感じがします。材料の片栗粉の分量に
少し増すといいようです。

片栗粉（コーンスターチ）が少ないと餅のような粘りが少なく、反
対に多すぎると硬くなってしまいます。焼き立てが美味しいので是非
熱々を食べてください。

焼く前のものは冷凍保存が出来ます。



材料（4人分）

ジャガイモ	500g
片栗粉	1 カップ
タレ	砂糖醤油など。

作り方

- ① ジャガイモは皮をむいてから茹で（少量なら電子レンジでOK皮のまま、後から皮をむく）熱いうちにつぶし、片栗粉（コーンスターチ）を混ぜる。
- ② 直径5～6センチくらいの大きさの平たい丸型に成形（形は好みで）して油を引いたフライパンで焼く。あまり強火にはせず、モチモチ感が出るように中までよく火を通し両面に焦げ目がつくまで焼く。

タレは砂糖醤油だけでなく、バターで焼いて醤油をまぶしてから海苔で巻く磯辺風にしたりマヨネーズやアリオソースをかけてもOK。またイモ餅の中にチーズやキムチを入れて焼いたりしても美味しいです。スペインの人はデザートとして食べるときは甘いものが好きですが、軽食として食べるときは甘くないものが多いようです。いろいろ工夫してお好みの味にしてください。

2010年 DELE検定

伊藤 千恵 (www.booking-by.net)

DELE 検定は最もポピュラーなスペイン語能力の公式検定試験です。スペイン教育省が認定する永久資格で国際的に通用することもあり、スペイン語学習者の中では、自分のスペイン語能力を証明するための良いツールになっています。世界100カ国、650以上のセンターで開催されています。今年は挑戦してみようと試験勉強に取り組んでいる方もいらっしゃるでしょう。2010年5月の検定からレベル設置が若干変わり、次の6段階に分かれることになりました。

2010年検定日程（年三回）

5月21.22日、8月20日、11月19.20日

レベルと検定料

・ DELE A1 75.00EUR

基本的な日常表現を理解し、使うことができる

・ DELE A2 (5月からの新設レベル) 85.00EUR

自分の身の回りのことでよく使う言い回しや表現を理解できるレベル。

・ DELE B1 Inicial 105.00EUR

日常生活において適切なやりとができる。自分の要望などを説明できる。

・ DELE B2 Intermedio 124.00EUR

専門用語を必要としない日常の通常会話において問題なくコミュニケーションができる。

・ DELE C1 (11月からの新設レベル) 130.00EUR

十分な言語能力と慣用表現や言い回しを含む語彙知識を持ち、どのような場でもコミュニケーションができる。

・ DELE C2 Superior 135.00EUR

高度な言語力と文化背景に対する知識が必要な状況で、十分にコミュニケーションできる。



試験は読解、聞き取り、文法語彙、文章表現、口頭試験の5つのカテゴリーで構成されています。どのような試験か内容を知りたい方は、模試を以下のリンクからダウンロードすることができます。

<http://diplomas.cervantes.es/candidatos/modelo.jsp>

また主催団体となっているセルバンテス協会では、オンラインのDELE検定準備コースを開講していますので、日本の学習者はそんなコースを利用するのもひとつの方法です。首都圏在住者は、東京のセルバンテス文化センターで開講している検定準備コースに参加することもできます。スペイン留学中の方は語学学校などでも準備コースが開講しているので、そうしたコースで下準備をして受験すると合格率が高くなります。

試験の詳しい情報はこちらのページを参考にしてください。

<http://www.cervantes.es/dele/>

お知らせ掲示板

1 LDK アパートメント短期貸し。
プール、ガーデン。Fuengirola
Puebla Lucia フェンヒローラ中
心、駅徒歩3分、ハイクオリティ
物件、短期1週から12週まで。
TEL: (+34) 610 438 699 イトウ
E-mail: spain@booking-by.net

El Pinillo タウンハウス貸し
プール、ガーデン、駅徒歩10分
長期貸し希望、条件応談。
TEL: (+34) 610 438 699 イトウ
E-mail: spain@booking-by.net

イギリス、アイルランドで英語を
勉強してみませんか？カントリ
ーサイド、英語研修&ホームス
テイ、ご相談ください。
info@booking-by.net
Tel 95 221 4998

Teatro Echegaray
ANTONIO CARBONELL
JOSÉ CARBONELL
MONTOYITA フラメンコ
2010/5/20 21.00

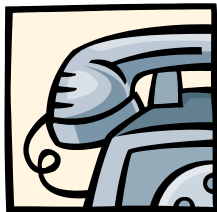
CAC MALAGA
GILBERT& GEORGE
イギリス前衛芸術
2010/2/5-5/9
Jonathan Meese モダンアート
東京生まれのドイツ人アーティ
スト 2010/4/9-6/20

**掲載については
tel:610438699**

Teatro Cervantes
www.teatrocervantes.com
マラガ交響楽団
W.A. MOZART, A. BRÜCKNER
2010/5/21 20.30
2010/5/22 20.00
F. MENDELSSOHN, H. BERLIOZ
2010/6/4 20.30
2010/6/5 20.00
Carmen Opera
オペラ カルメン
2010/6/25 21.00
2010/6/27 20.00
Carmen Nancy Fabiola Herrera
Don José Albert Montserrat

Auditorio Diputacion Malaga
Pacifico 54
2010/5/16 20.30
Jorge Drexler
ウルグアイ人のアコースティック
サウンド
2010/6/19 20.30
Nancy Vieira
Cabo Verde ポルトガル伝統音楽

Museo Picasso
www.museopicassomalaga.org/
Picasso. Horses
2010/5/17-9/5
特別展 ピカソと馬
作品に度々登場する馬に焦点を
当てた展示



掲示板掲載、広告、お問い合わせは、**コスタ・アミーゴス**
事務局：伊藤 千恵 (Chie Ito)
Apartado de Correo 527 29080 Malaga
TEL: 95 221 4998 FAX: 95 221 1349 E-mail: costaamigos@rgmail.com <http://www.costaamigos.org>

コスタ・アミーゴス会報に掲載されている記事、広告は、事実に基づいた正確な内容であるべく努めておりますが、記載内容から発生したご購読者への如何なる不利
益にもコスタ・アミーゴス事務局は全く関知致しません。

コスタ・アミーゴス 会員募集中

Costa del Sol にお住まいの日本人の皆さん、日本から Costa del Sol へのご滞在をお考えの皆さん、コスタの日本人サークル
にご参加なさいませんか。コスタ・アミーゴスは地域の情報交換を目的とした互助サークルです。現地でより快適な暮らし、
充実した生活を実現させるための情報を提供します。会誌 Costa アミーゴスの発行（年4回）、定例会、親睦活動を行います。
海外会員へはコスタデルソル現地情報提供、宿泊先情報提供など、皆様の現地滞在为のための良きサポート役となっております。
年会費：現地在住者お一人 30.00EUR、日本からの御参加 95.00EUR（会報の郵送料含む）

ご参加希望者は、入会フォームをご請求ください。担当：伊藤
Raronet S.L.宛て Apartado de Correo 527 29080 Malaga
TEL: (+34) 95 221 4998 E-mail: costaamigos@gmail.com

コスタ・アミーゴス ホームページ
<http://www.costaamigos.org>

編集後記：アイスランドの噴火でヨーロッパの航空網が大混乱。バス
や船でヨーロッパ大陸を大移動した人もたくさんいます。
今年のFIPも着々と準備が進んでいる模様です。きっと楽しいイベント
になると思います。お誘い合わせの上お出かけください。（伊藤千恵）

Costa Amigos - the only Japanese circle on the Costa del Sol. We would welcome you to join us if you are interested in
Japanese culture / language and would like to participate in any of our activities or if you would like to promote your business to
Japanese residence on the Costa, please contact us the address above.

Costa Amigos - El único club japonés en Costa del Sol. Desearíamos darle la bienvenida y contar con su presencia si están
utds interesados en nuestra cultura o nuestro idioma y participar en todas nuestras actividades o desean promover su negocio
e intercambios comerciales con residente japoneses en Costa del Sol. Por favor contacten nuestro dirección precitada.

